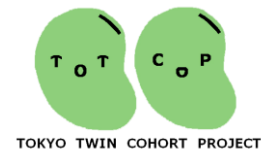


ToTCoP 会員各位

慶應義塾大学ふたご行動発達研究センター
児童期のふたごを対象とした来校調査における
新型コロナウイルスへの感染防止対策について



首都圏ふたごプロジェクト(ToTCoP)では、「児童期のふたごを対象とした来校調査」における新型コロナウイルスへの感染防止対策として、慶應義塾大学コロナ対策委員会の承認を得て、以下のようなガイドラインを設けて実施いたします。なにとぞご理解の上、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

- 1) 調査室の密度を高めないため、室内にご滞在いただける方は、**ふたごのお子さま2名と保護者様1名の計3名のみ**とさせていただきます。それ以外の方をお連れの場合は、調査の間、調査を行う建物の外のいずれかの場所でお待ちいただくことになります。
- 2) 調査室入室の前に来校された方全員の検温をさせていただき、37.5℃以上の発熱が確認された場合は調査を中止させていただきます。
- 3) 調査室では、各自必ずマスクを着用してください。
- 4) 調査室入室の際には、調査室に用意するアルコールで手の消毒をお願いします(アルコール過敏など消毒に関して特別な配慮が必要な場合は、あらかじめご相談ください)。
- 5) 調査室では、必要な水分補給を各自持参した飲料で摂取する以外には、**飲食はお控えください**。

※来校調査の所要時間はもともと3時間程度でしたが、およそ1時間当たり15分の換気と消毒の時間を設けねばならないため、全体の所要時間は30分長くなり、**正味3時間半**になります。

また、調査実施に際しては、以下のような対策を採っております。

- イ) 調査員は全員マスク、フェイスシールドを着用します。
- ロ) アクリル製パーティションを調査員とお子さまとの間に設置します。
- ハ) 調査説明の際にパーティションをはさんで約1分、1mの距離に近づくことがある以外は2m以上の距離を置きます。
- ニ) 用具を用いる調査セッションごとに、用具のアルコール消毒と手の消毒を行います。
- ホ) 調査室の入り口ドアは常に開放し、サーキュレータを常時稼働させます。
- ヘ) およそ1時間ごとに15分の休憩を設け、部屋の換気を行います。
- ト) 調査室入室前に、調査関係者全員の検温を実施し、37.5℃以上の発熱が確認された場合、調査を中止いたします。

チ) 調査室には調査員3名と研究代表者1名がありますが、保護者様への調査のご説明や、お子さまとの調査実施のときは、調査室の中の各スペースで、調査員ひとりずつが対応します。

なお、調査に関わった人から感染者が出た場合は次のように対応します。

- 1) 調査者の中に感染者が出ていたことが、調査ご参加の後2週間以内に判明した場合、研究代表者を通じて大学に報告し指示を仰ぐとともに、そのとき調査を実施したふたごのご家庭に連絡をとる。
- 2) 調査を実施したふたごのご家庭に感染者が出ていたことが、調査ご参加のあと2週間以内に判明した場合、研究代表者に連絡を取ってもらい、大学に報告し指示を仰ぎます。

本調査に関してご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

ご不便をおかけいたしますが、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

**慶應義塾大学ふたご行動発達研究センター 首都圏ふたごプロジェクト
児童期のふたごを対象とした来校調査**

研究代表：安藤寿康（慶應義塾大学教授）

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 慶應義塾大学文学部 安藤寿康研究室内
電話：03-5427-1810 E-mail：happy@totcop.keio.ac.jp